

(5) 平成12年度 市長施政方針・予算

美しい地域づくりのために行動を



水と緑のまち
～快適で安らぎが漂うまち～

安全で快適な市民生活を実現するためには、今後も道路や下水道など生活に直結する都市基盤の整備を進めることが必要となります。これまで、本市の自然特性を生かしながら、安全、快適な都市空間づくりに努めてまいりました

域づくり」について述べてきたところであります。里山や田園風景は多様であります。小鳥のさえずり、窓辺の花、子どもたちの純真な心、歴史や伝統の持続性など、地域を見る人の心を惹き入れる数だけ美しさがあります。美しい地域づくりとは、愛を持って自分の地域を見つめるところと、そして地域のために行動することと言え換えることができるかもしれません。

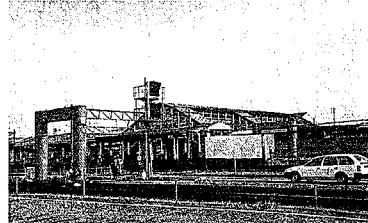
そうした意味では、美しい地元は与えられるものではありません。自分でつくっていくしかなければならないのです。皆さんの地域の働きかけが地域の美しさを増すことがあります。一つひとつ動の輪を広げていきたいと思いま

立川二三月の書

が、二十一世紀に向け、より一層環境に配慮した美しい地域づくりの視点で取り組みを進める所存であります。

といった公共交通機関、徒歩や自転車等を総合的に組み合わせて環境にやさしくエネルギー負荷の少ない交通体系の構築を図っていくかなければなりません。そのためには、これまでのような増加する自動車の交通量に対応するという追従型の考え方から、交通量そのものをコントロールしていくこととする交通需要マネジメントの考え方

くことが必要となります。二十一世紀は、車を貲り使う時代でなければならないと考えております。
本市は、昨年建設省の「自転車利用環境整備モデル都市」の選定を受けましたが、今後も交通の需を調整していく、ということを考え方を基本としたものであります。
津駅を中心とする市街地での自転車



整備が進む新津駅東西歩行者道

ましては、活力のある安定したまちを目指して「新津市都市計画マスター・プラン」の策定を予定していくべきである。既存の制度や施策、事業を見直し、効率的な行政運営に努めてまいりたいと考えております。

最初に、交通網の整備に関する
施策であります。

最初に、交通網の整備に関する施策であります。車は、私たちの生活に利便性を与えてくれる反面、交通事故による死傷者や負傷者を多くもたらす問題を投げかけております。車の通航規制、さらには排気ガスによる地球温暖化や酸性雨等さまざまな問題を抱えています。

次に、水害対策であります。

近年の水害は、短時間での多量

溢れでる典型的な「都市型・内水

萩原町東郷地区

は、新年度から（仮称）小阿賀ボンプ場の工事に着手し、同時に幹線管渠工事も進め、平成十四年度までの供用を予定しております。田中・中沢地区におきましても、排



グラウンドに雨水を一時貯留し水害防止

- 新栄町10号線ほかヨミュニティゾーン形成事業
- 南部雨水一号幹線整備事業
- 田家・中沢地区的浸水解消事業
- 駅東西歩行者道を整備するほか、駅西口に公衆用トイレや欄、歩道を整備し、駅舎の実施設計委託や用地買収などを実行します。
- 通過交通を抑制し、人優先の道路整備を行います。

会計名	予算額(歳入歳出)	前年度比
老人保健特別会計	68億4230万円	- 9.2%
下水道事業特別会計	50億3680万円	+ 4.5%
国民健康保険特別会計	42億2950万円	+ 7.2%
工業団地造成事業特別会計	652万円	+ 106.4%
介護保険特別会計	27億2200万円	新設
水道事業会計	28億4557万円	+23.9%

特別会計等の予算